

# Sun Fire™ V20z および Sun Fire™ V40z サーバー — サーバーのバージョン間の相違点

---

このマニュアルでは、リリースされている Sun Fire™ V20z および Sun Fire V40z サーバーのバージョンを比較します。このマニュアルでは、次の内容について説明します。

- 1 ページの「このマニュアルで使用する用語」
- 2 ページの「製品アップデート、マニュアル、サポート、およびトレーニング」
- 3 ページの「サーバーのバージョン」
- 6 ページの「CPU オプション」
- 7 ページの「CPU ステッピングバージョンの混在の禁止」
- 12 ページの「メモリーオプション」

---

## このマニュアルで使用する用語

**FRU** – 現場交換可能ユニット。Sun Service が交換する必要があるコンポーネントです。

**CRU** – 顧客交換可能ユニット。ユーザーが交換できるコンポーネントです。

**X オプション** – システムに追加するオプションの追加コンポーネント。X オプションには、CPU ヒートシンクなど、FRU または CRU に付属していない部品が含まれる場合があります。

**Sun パーツ番号 (PN)** – XXX-XXXX-XX 形式の番号。下 2 桁が -01 より大きい場合、Sun がその部品を更新したことを示します。XXX-XXXX と省略されます。

---

# 製品アップデート、マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun では、マニュアル、ドライバ、ファームウェア、および CD-ROM の .iso イメージの更新版を、Sun の Web サイトで提供しています。また、この Web サイトから、テクニカルサポートやトレーニングサービスにアクセスすることもできます。これらの Sun のサービスを利用するには、次のリンクを使用してください。

表 1 ユーザー用 URL

Sun のサービス	URL
マニュアル	<a href="http://jp.sun.com/documentation/">http://jp.sun.com/documentation/</a>
ファームウェア、ドライバ、CD-ROM の .iso イメージなどの更新版	<a href="http://www.sun.com/servers/entry/v20z/downloads.jsp">http://www.sun.com/servers/entry/v20z/downloads.jsp</a> <a href="http://www.sun.com/servers/entry/v40z/downloads.jsp">http://www.sun.com/servers/entry/v40z/downloads.jsp</a>
テクニカルサポート	<a href="http://www.sun.com/service/contacting">http://www.sun.com/service/contacting</a>
トレーニング	<a href="http://jp.sun.com/training/">http://jp.sun.com/training/</a>
Solaris™ オペレーティングシステムのマニュアル	<a href="http://docs.sun.com">http://docs.sun.com</a>
保証	<a href="http://jp.sun.com/service/support/warranty/index.html">http://jp.sun.com/service/support/warranty/index.html</a>

このマニュアルでは、最初の 7 桁のパーツ番号か、末尾に -xx が付いたパーツ番号のいずれかが示されています。10 桁の完全なパーツ番号は示されていないため、リリースされている部品の最新バージョンを必ず確認してください。

使用している Sun 製品が最新バージョンであるかどうかを確認するには、Web サイトに掲載されている製品のパーツ番号の下 2 桁と、使用しているバージョンのマニュアルに記載されているパーツ番号を比較してください。番号が大きいほど新しい製品であることを示します。

---

## サーバーのバージョン

Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバーは、複数のバージョンがリリースされています。各サーバーのバージョン間で、すべてのハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントが互換性があるとはかぎりません。リリースされているコンポーネントの構成をサポートするハードウェアコンポーネントおよびソフトウェアの一覧については、表 2 を参照してください。使用しているサーバーのバージョンを特定するための追加情報については、表 3 を参照してください。

サーバー間の相違点の詳細は、Sun のマニュアル Web サイトで入手可能な『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—ユーザーマニュアル』を参照してください。

---

**注** – シャーシの FRU PN ラベルは、サーバーのフロントパネルの DVD-ROM/フロッピーディスクドライブ構成部品の近くにあります。

---

表 2 に関する重要な注意事項を次に示します。

- 使用しているシステム用の最新の NSV にアップグレードすることをお勧めします。次の URL を参照してください。  
<http://jp.sun.com/download/>
- Sun は、シャーシごとに示された CPU ステッピングバージョンのみをサポートします。
- シャーシ FRU PN 380-1194 の Sun Fire V20z システムでは、CPU ステッピングバージョン C0 および CG は使用できません。
- ステッピングバージョン「E」の CPU には、消費電力のより大きなこれらのプロセッサに対応できるように変更されたヒートシンクが必要です。

表 2 サーバーのバージョンごとのコンポーネントとソフトウェア間の互換性

シャーシ FRU PN	マザー ボード PN	シングル コアまたはデュアル コア	CPU ステッ ピングバー ジョン	必要な CPU VRM PN	DDR メ モリー DIMM の 種類	必要なメ モリー VRM PN	NSV の 最小要件	BIOS の最小 要件
Sun Fire V20z サーバー								
380-0979*	370-6730	S	C0	F370-6680	DDR 333	F370-6646	2.1.0.9f	1.27.11
380-1168	370-7691	S	CG	F370-6680	DDR 333	F370-6646	2.1.0.16b	1.30.5
380-1194	370-7788	S	E6、E4	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.2.0.6h	1.32.7.2
380-1194	370-7788	S、D	E6、E4	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.3.0.11	1.33.5.2
380-1194	370-7788	S、D	E6、E4、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.3.0.11c	1.33.7.2
380-1194	370-7788	S、D	E6、E4、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.4.0.6	1.34.4.2
380-1194	370-7788	S、D	E6、E4、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.4.0.8	1.34.6.2
380-1194	370-7788	S、D	E6、E4、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.4.0.12	1.35.2.2
Sun Fire V40z サーバー								
380-1010	370-6929	S	CG	F370-6680	DDR 333	F370-6646	2.1.0.16b	2.22.4
380-1206	370-7808	S	E6、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.2.0.6h	2.32.8.2
380-1206†	370-7808	S、D	E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.3.0.11	2.33.5.2
380-1206	370-7808	S、D	E4、E1	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.3.0.11c	2.33.7.2
380-1206	370-7808	S、D	E6、E4、 E1、CG、C0	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.4.0.6	2.34.4.2
380-1206	370-7808	S、D	E6、E4、 E1、CG、C0	F370-7746	DDR 333 DDR 400	F370-7747	2.4.0.8	2.34.6.2
380-1378	375-3438	S、D	E6、E4、 E1、CG、C0	F371-1463	DDR 333 DDR 400	F371-1464	2.4.0.12	2.35.2.2

\* FRU シャーシ PN 380-1168 は、シャーシ PN 380-0979 および PN 380-1168 の交換用として送付されます。

† ステッピングバージョン E の CPU とともにデュアルコアプロセッサを使用するには、NSV 1.3.0.1 (V20z) または 2.3.0.1 (V40z) 以降が必要です。

表 3 Sun Fire V20z または Sun Fire V40z サーバーのバージョンの特定

シャーシ FRU PN	標準構成 PN:		XATO PN	シャーシ固有の注意事項
	先頭	末尾		
Sun Fire V20z サーバー				
380-1168	A55	L、LDE、L-DE、L-E	A55D-AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファンの回転速度の調整が可能になります。</li> <li>2 台の BCM5703 シングル GBE コントローラが、1 台の BCM5704 デュアル GBE コントローラに置き換えられます。</li> </ul>
380-1194	A55	M、MDE、M-DE、M-E、ME	A55E-AA	
Sun Fire V40z サーバー				
380-1010	A57	7	A57A-AA	
380-1206	A57	A	A57B-AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファンの回転速度の調整が可能になります。</li> <li>2 台の BCM5703 シングル GBE コントローラが、1 台の BCM5704 デュアル GBE コントローラに置き換えられます。</li> </ul>
380-1378	A57	7	A57C-AA	RoHS-5 準拠

# CPU オプション

1 台のサーバーで異なるステッピングバージョンまたは速度の CPU を混在させないでください。これには、オプションの Sun Fire V40z サーバーの CPU カードに搭載されている CPU も含まれます。詳細は、7 ページの「CPU ステッピングバージョンの混在の禁止」を参照してください。

電源の要件および高さの制限により、ステッピングバージョン「E」の CPU は、シャーシ FRU PN 380-1194 の Sun Fire V20z サーバー、およびシャーシ FRU PN 380-1206 または 380-1378 の Sun Fire V40z サーバーでのみ動作します。



**注意** – ステッピングバージョン「E」のすべての CPU には、新しいヒートシンクが提供されています。ステッピングバージョン「E」の CPU に、以前のヒートシンクを使用しないでください。

表 4 および表 5 に、CPU ステッピングバージョンと、関連する CPU のパーツ番号を示します。X オプションおよび CRU の定義については、1 ページの「このマニュアルで使用する用語」を参照してください。

表 4 Sun Fire V20z の CPU オプションとパーツ番号

	X オプション	顧客交換可能コンポーネントの PN
シングルコア CPU		
Opteron 242、1.6 GHz、C0 ステッピング	廃止	F370-6695-xx
Opteron 244、1.8 GHz、C0 ステッピング	廃止	F370-6670-xx
Opteron 248、2.2 GHz、C0 ステッピング	廃止	F370-6672-xx
Opteron 244、1.8 GHz、CG ステッピング	594-0368-xx	F370-6783-xx
Opteron 248、2.2 GHz、CG ステッピング	594-0369-xx	F370-6785-xx
Opteron 250、2.4 GHz、CG ステッピング	594-7579-xx	F370-6786-xx
Opteron 244、1.8 GHz、E ステッピング	594-0660-xx	F370-7710-xx
Opteron 248、2.2 GHz、E ステッピング	594-0661-xx	F370-7711-xx
Opteron 250、2.4 GHz、E ステッピング	594-0662-xx	F370-7712-xx
Opteron 252、2.6 GHz、E ステッピング	594-0371-xx	F370-7272-xx
デュアルコア CPU		
Opteron DC 270、2.0 GHz、E ステッピング	594-1663-xx	F370-7799-xx
Opteron DC 275、2.2 GHz、E ステッピング	594-1664-xx	F370-7800-xx

表 5 Sun Fire V40z の CPU オプションとパーツ番号

	X オプション	顧客交換可能コンポーネント
シングルコア CPU		
Opteron 844、1.8 GHz、CG ステッピング	595-7482-xx	F370-6902-xx
Opteron 848、2.2 GHz、CG ステッピング	595-7483-xx	F370-6904-xx
Opteron 850、2.4 GHz、CG ステッピング	595-7577-xx	F370-6939-xx
Opteron 848、2.2 GHz、E4 ステッピング	594-1099-xx	F370-7704-xx
Opteron 850、2.4 GHz、E4 ステッピング	594-2941-xx	F370-7705-xx
Opteron 852、2.6 GHz、E4 ステッピング	594-2942-xx	F370-7706-xx
Opteron 854、2.8 GHz、E4 ステッピング	594-2943-xx	F370-7961-xx
Opteron 856、3.0 GHz、E4 ステッピング	594-2944-xx	F371-1759-xx
デュアルコア CPU		
Opteron DC 870、2.0 GHz、E6 ステッピング	594-1623-xx	F370-7796-xx
Opteron DC 875、2.2 GHz、E6 ステッピング	594-1622-xx	F370-7797-xx
Opteron DC 880、2.4 GHz、E6 ステッピング	594-2532-xx	F371-0291-xx
Opteron DC 885、2.6 GHz、E6 ステッピング	594-2946-xx	F371-1760-xx

## CPU ステッピングバージョンの混在の禁止

Sun Fire V20z サーバーおよび Sun Fire V40z サーバーでは、さまざまなステッピングバージョンおよび速度の CPU を使用することができます。

1 台のサーバーで異なるステッピングバージョンまたは速度の CPU を混在させないでください。これには、オプションの Sun Fire V40z CPU カードに搭載されている CPU も含まれます。

使用しているサーバーで CPU を追加または交換するために CPU X オプションを注文する場合は、同じステッピングバージョンおよび速度の CPU を注文してください。注文する前に、次のセクションの説明に従って、使用している CPU のステッピングバージョンを確認してください。

8 ページの「ローカルサーバーでのステッピングバージョンの確認」

## ローカルサーバーでのステッピングバージョンの確認

KVM が接続されたローカルサーバーの CPU ステッピングバージョンを確認するには、次の手順に従います。

1. サーバーの電源を入れるか、再起動します。

画面に次の例のようなメッセージが表示され、メモリーテストが開始されます。

これは Sun Fire V20z サーバーの出力例ですが、Sun Fire V40z サーバーでの出力も同様になります。

```
PhoenixBIOS 4.0 Release 6.0
Copyright 1985-2002 Phoenix Technologies Ltd.
All Rights Reserved
Production RELEASE: System BIOS Revision = V1.30.5
SP Interface (PRS) Revision = 92
SP - BIOS Interface Active

xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xx  Sun Microsystems  xx
xx  Sun Fire V20z    xx
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

CPU = AMD Opteron(tm) Processor 250
2 Processors Detected, CG - CG
PCIX - Slot1: PCIX-66      Slot2: PCIX-133
4031M System RAM Passed
1024K Cache SRAM Passed
ATAPI CD-ROM: CD-224E
Mouse initialized
```

2. メモリーテスト中に、Pause キーを押します。
3. 次の例のいずれかに類似した行が表示されるので、ここで CPU ステッピングバージョンを確認します。

```
2 Processors Detected, CG - CG
2 Processors Detected, E4 - E4
```

4. 再起動を継続するには、任意のキーを押します。

## 遠隔サーバーのステッピングバージョンの確認

遠隔サーバーの CPU ステッピングバージョンを確認するには、次の手順に従います。

1. SP での Serial-Over-Lan (SOL) 機能を有効にします。

詳細は、『Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバー—サーバー管理マニュアル』の「Serial Over LAN」のセクションを参照してください。

2. SP コマンド行インタフェース (CLI) から SOL セッションを起動して、プラットフォームコンソールに遠隔で接続します。
3. 次のコマンドを入力します。

```
platform set console -s sp -e -S baud rate
```

*baud rate* には、BIOS 設定で設定した値を指定します。BIOS 設定でのデフォルトのボーレートは 9600 です。

たとえば、BIOS 設定のボーレートにデフォルト値が設定されている場合は、次のように入力します。

```
platform set console -s sp -e -S 9600
```

---

注 – このコマンドを実行すると、SP のボーレート値が変更されて BIOS 設定のボーレートと一致するようになります。- BIOS 設定のボーレートは変更されません。

---

4. 次のコマンドを入力します。

```
platform get console
```

5. Speed 列に正しいボーレートが表示されることを確認します。前述のコマンドを実行した場合には、出力は次のように表示されます。

Rear Panel Console Redirection	Speed	Pruning	Log Trigger
SP Console Enabled	9600	No	244 KB

6. 次のコマンドを入力して、SOL セッションを起動します。

```
platform console
```

7. SP プロンプトから別の SP セッションを作成します。
8. 次のコマンドを入力して、プラットフォーム OS の電源の切断および再投入を行います。

---

注 - 電源の切断および再投入を行う前に、プラットフォーム OS が正常に停止していること、または sync コマンドによってファイルシステムが同期化されていることを確認します。

---

```
platform set power state cycle -W -f
```

9. 手順 2 で開始した SP SOL セッションで、BIOS の CPU ステップ画面が出力されません。

```
PhoenixBIOS 4.0 Release 6.0
Copyright 1985-2002 Phoenix Technologies Ltd.
All Rights Reserved
Production RELEASE: System BIOS Revision = V1.30.5
SP Interface (PRS) Revision = 92
SP - BIOS Interface Active

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
xx  Sun Microsystems  xx
xx  Sun Fire V20z    xx
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

CPU = AMD Opteron(tm) Processor 250
2 Processors Detected, CG - CG
PCIX - Slot1: PCIX-66      Slot2: PCIX-133
4031M System RAM Passed
1024K Cache SRAM Passed
ATAPI CD-ROM: CD-224E
Mouse initialized
```

10. サーバーのメモリーの自己診断中に、遠隔セッションを終了して画面を停止させません。
  - a. Control-e を押します。
  - b. c キーを押します。
  - c. ピリオド (.) キーを押します。

11. 次の例のいずれかに類似した行が表示されるので、ここで CPU ステッピングバージョンを確認します。

```
2 Processors Detected, CG - CG  
2 Processors Detected, E4 - E4
```

# メモリーオプション

メモリーオプションは、Sun Fire V20z および Sun Fire V40z の両方のサーバーのバージョン間で異なります。表 6 に、メモリーオプションの一覧を示します。

表 6 メモリーオプションとパーツ番号

Super FRU シャーシのパーツ 番号	メモリー DIMM の パーツ番号	メモリーの説明	メモリーの種類
Sun Fire V20z サーバー			
380-0979	370-6643	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6644	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6645	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
380-1168	370-6643	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6644	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6645	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
380-1194	370-6643	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6644	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6645	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-7804	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	370-7805	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	370-7806	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
Sun Fire V40z サーバー			
380-1010	370-6643	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6644	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-7063	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
380-1206	370-6643	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-6644	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-7063	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR333/PC2700
	370-7804	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	370-7805	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	370-7806	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
380-1378	371-1457	1G バイト (512M バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	371-1458	2G バイト (1G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	371-1459	4G バイト (2G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200
	371-1460	8G バイト (4G バイトの DDR DIMM が 2 枚)	DDR400/PC3200

Part No: 819-4304-12

2006 年 10 月, Revision A

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. 本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。Sun、Sun Microsystems、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

